

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2018年

氏名	河合 幹雄	担当科目	法社会学
学 位			
1986年3月	法学修士		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1978年3月	県立奈良高等学校卒業		
1978年4月	京都大学理学部入学		
1982年3月	京都大学理学部生物系卒業（学士号）		
1982年4月	京都大学文学部社会学聴講生、社会学を学ぶ（～1984年3月）		
1984年4月	京都大学大学院法学研究科修士課程入学		
1986年3月	京都大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）		
1986年4月	京都大学大学院法学研究科法社会学専攻博士後期課程入学		
1991年3月	京都大学大学院法学研究科法社会学専攻博士後期課程満期退学		
1992年10月	パリ第10大学法学博士論文準備生（～1999年9月）		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
1988年1月	CNRS（フランス国立科学研究所）IRJC（比較法研究所）助手（～1988年9月）		
1991年4月	京都大学法学部助手（～1993年3月）		
1993年4月	桐蔭学園横浜大学法学部専任講師（～1997年3月）		
1997年4月	桐蔭横浜大学法学部専任講師（法社会学担当）（～1998年3月）		
1997年4月	一橋大学法学部非常勤講師（法社会学担当）（～現在）		
1998年4月	桐蔭横浜大学法学部助教授（～2004年3月）		
2004年4月	桐蔭横浜大学法学部教授（法社会学担当）		
2004年4月	一橋大学法科大学院非常勤講師（法社会学担当）（～現在）		
2006年4月	警察大学校特別捜査幹部研修所嘱託教員（～2014年）		
2012年4月	早稲田大学法学部兼任講師（犯罪学Ⅰ、犯罪学Ⅱ担当）（～現在）		
2012年4月	桐蔭横浜大学法学部長（～2016年3月）		
2016年4月	桐蔭横浜大学副学長（～現在）		
	<p>ほか日本法社会学会理事、日本被害者学会理事、全国篤志面接委員連盟評議員、河合隼雄財団評議員、公益財団法人矯正協会業務執行役員候補者審議委員会委員、A V人権倫理機構理事等歴任</p> <p>法務総合研修所、人事院公務員研修所等における講義等</p> <p>日本法社会学会、日本犯罪社会学会、日本被害者学会、日本刑法学会、日本法哲学会、比較法史学会所属</p>		

最近5年間の主な業績等

年 月	事 項
2013年6月	『これからどうする 未来のつくり方』、河合幹雄他「犯罪に対する不安は治まるのか」(岩波書店) 561頁～563頁
2014年4月	『法の基層と展開 法学部教育の可能性』 桐蔭法学研究会編、河合幹雄「第11講 暴力団にかかわる正義と公正 —法社会学的視点から—」(信山社) 225頁～240頁
2014年7月	『法の観察 法と社会の批判的再構築に向けて』和田仁孝・樫村志郎・阿部昌樹・船越資晶編、河合幹雄「刑事施設視察委員制度と市民の司法参加」(法律文化社) 115頁～133頁
2014年10月	『改正児童ポルノ禁止法を考える』園田寿・曾我部真裕編、河合幹雄「デュトゥルー事件と児童性愛者ネットワーク——幻想を生んだ背景と役割」(日本評論社) 115頁～120頁
2015年1月	『岩波講座 現代法の動態 【5】法の変動の担い手』長谷部恭男・佐伯仁志・荒木尚志・道垣内弘人・大村敦志・亀本祥編、河合幹雄「裁判員制度と市民の変容」(岩波書店) 203頁～222頁
2015年4月	『21世紀の日本最強論』文藝春秋編、河合幹雄「世界で一番安全な国」(文藝春秋) 60頁～70頁
2017年12月	『法学セミナー 2018年1月号 通巻 756号』日本評論社「司法取引導入と司法の文化 —現場の実態は変わるのか」52～56頁
2017年12月28日、29日	『現代ビジネス』WEB、講談社、「“AV出演強要”何が問題だったのか?有識者委員会メンバーが明かす —(上)女優たちが本当に望んでいたこと (下)なんと総ギヤラの2%という事」
(参考:外部リンク) プロフィールURL	
	http://toin.ac.jp/univ/faculty/professor/%E6%B2%B3%E5%90%88%E3%80%80%E5%B9%B9%E9%9B%84%E3%80%80kawai-mikio/